



自由研究の進め方

さいたま市立馬宮東小学校

さあ、夏休みが始まります。

自由な時間がたくさんある夏休みはじっくり自由研究をするチャンスです。

領域は理科だけに限らず、社会・国語・算数…どの教科の内容でも行うことができます。

「どうしてだろう」「どうなるんだろう」「もっとくわしく知りたいな」などと日頃思っていることをいろいろな方法で確かめてみましょう。必ず発見があるはず。ほんの小さなことでいいのです。自分の気づきが大切なのです。

ふとした疑問を、自分で考えた方法で、納得するまで追求していくことの楽しさをぜひ味わってください。

まずは、身の回りの不思議や疑問を見つけることからスタートしましょう！

1 研究テーマを決めよう

- 授業で学んで、興味をもったことや不思議に思ったこと。
- 本やテレビやインターネットなどで興味をもったことや不思議に思ったこと。
- 生活の中で「なぜだろう」「おもしろい、もっとくわしくしらべてみたい」と思ったこと。

自分が一番おもしろいと思ったテーマや、じっくりと取り組むことができそうなテーマを選びましょう。

2 研究の計画を立てよう

- どんな調査や観察、実験をするのか考える。
- 調べるために、何を用意するのか考える。
- 調べる順序や記録の仕方を考える。
(タブレット型コンピュータやデジタルカメラなども記録するのに使えそう。)
- どのような結果になるのか予想する。

3 研究を進めよう

- 見たり、さわったり、はかったりなどして、いろいろな方法でできるだけたくさんのことを調べる。
(形・大きさ・数・色・鳴き声・音・におい・手ざわり・重さなど)
- よく目につくところから見ていき、だんだん細かいところをみるようにする。

- ひとつのものだけでなく、たくさん調べる。
- 一回だけでなく、何回も調べる。
- 記録表を作る。(天気や気温は必ず記録していく。)
- 文や絵でできるだけくわしく記録しておく。写真にとっておいたり、サンプルとして実物をとっておいたりする。
- 地域を歩き、地域のことを調べる。
- 博物館・科学館で調べたり、ほかの人にインタビューしたりする。
- 図書や文献で調べる。

4 研究をまとめよう

- 調べて分かったことを整理しよう。そして、どんなきまりや、どんな関係があるか見つけるようにしよう。
- 調べたことを表やグラフにまとめ、いろいろな関係が分かるように整理する。
- 調べて分かったこと、分からなかったことを整理して考察しよう。
- 感想や、次に調べてみたいことなどを書く。

まとめる形式は、レポート用紙・ノート・模造紙・パワーポイントにまとめプリントアウトするなどあります。応募票は無いので、必ず最初に学年組・名前を書いてください。

理科の場合は、教科書の「わたしの研究」のページを参考にするといいですね！！

